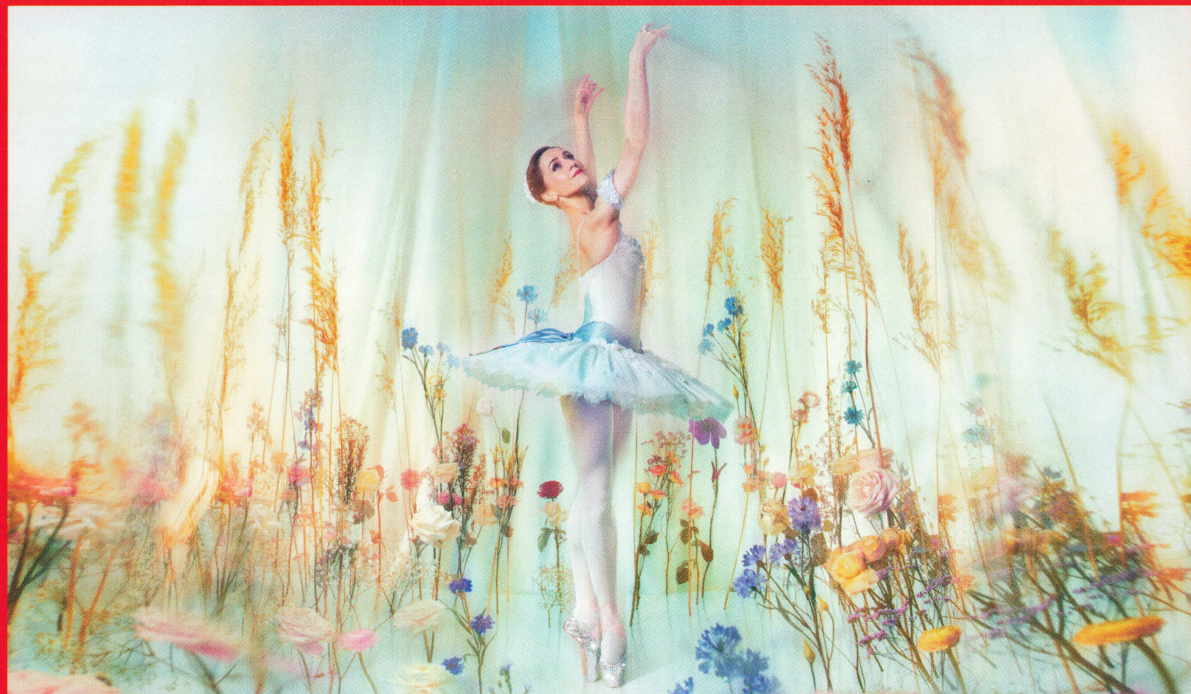


# 人生を満たす、情熱のオペラ、魅惑のバレエ。

ROYAL OPERA HOUSE LIVE CINEMA SEASON 23

## 英国ロイヤル・オペラ・ハウス シネマシーズン 2022/23



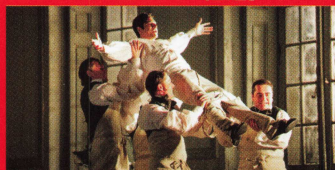
©2023 Sebastian Nevols

ロイヤル・オペラ  
「セビリアの理髪師」



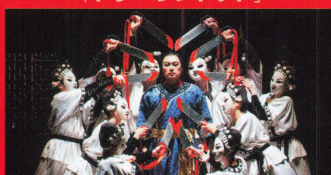
5月19日(金)~5月25日(木)  
©2016 ROH. Photograph by Mark Douet

ロイヤル・オペラ  
「フィガロの結婚」



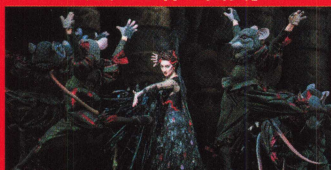
7月7日(金)~7月13日(木)  
©ROH 2012 Bill Cooper

ロイヤル・オペラ  
「トゥーランドット」



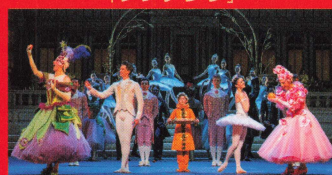
6月2日(金)~6月8日(木)  
©ROH Tristram Kenton

ロイヤル・バレエ  
「眠れる森の美女」



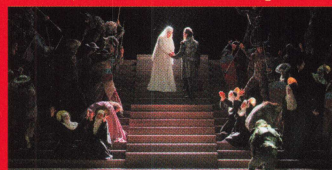
8月25日(金)~8月31日(木)  
©2017 ROH. Photograph by Bill Cooper

ロイヤル・バレエ  
「シンデレラ」



6月16日(金)~6月22日(木)  
©ROH Tristram Kenton

ロイヤル・オペラ  
「イル・トロヴァトーレ」



9月22日(金)~9月28日(木)  
©ROH

世界最高クラスのパレエとオペラを大スクリーンで。

tohotowa.co.jp/roh 配給:東宝東和 ◆ (R)





# シネマシーズン後半も豪華なラインナップが続々!

英国ロイヤル・オペラ・ハウスとは

ロンドンのコヴェント・ガーデンにある4階建ての円形観客席を有する世界最高のレベルを誇る名門歌劇場。席数は2256席。1732年設立以来、約300年にわたり英国におけるオペラとバレエの発展の中心的存在として歴史を刻んできました。ここを本拠地としているのが、ロイヤル・オペラとロイヤル・バレエ団、そしてロイヤル・オペラ・ハウス管弦楽団です。

シネマシーズンでは世界最高クラスのバレエとオペラの舞台を、舞台裏でのインタビューや特別映像を交えて、映画館の大スクリーンと迫力ある音響でお楽しみいただけます。  
ライブでの観劇とは一味違う新たな体験を、今シーズンもお届けいたします。



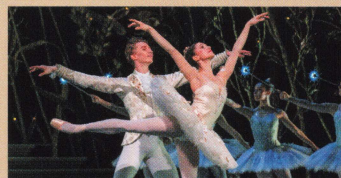
●ロイヤル・オペラ  
2023年 5月19日(金)~5月25日(木)  
「セビリアの理髪師」  
The Barber of Seville  
【音楽】ジョアキーノ・ロッシーニ  
【演出】モッシュ・ライザー&パトリス・コリエ  
【出演】アイクル・アムチーナ、アンドレイ・フィロンチク、  
ローレンス・ブラウンリー、フリン・ターフェル 他

舞台は18世紀のスペイン。アルマヴィーヴァ伯爵は意中の女性ロジーナを振り向かせようと才気溢れる床屋のフィガロに協力を仰ぐ。フィガロが知恵を駆使するなか、知的ながらもお転婆なロジーナはする賢い後見人の下から逃げ出そうとしていた。恋のときめきとリスクを描くロッシーニの最高傑作と言われる不朽の喜劇オペラ。いま最も注目されている指揮者の一人ラファエル・バヤレがロイヤル・オペラ・ハウスにデビューを飾る。



●ロイヤル・オペラ  
2023年 6月2日(金)~6月8日(木)  
「トゥーランドット」  
Turandot  
【音楽】ジャコモ・プッチーニ  
【演出】アンドレイ・セルバン  
【指揮】アントニオ・パッパーノ  
【出演】アンナ・ピロツィ、ヨソフ・ソニー、  
マザバネ・センリア、ラウクワナシヤ 他

絶世の美女であり冷酷なトゥーランドット姫と結婚するためには謎解きに挑まねばならない。もし失敗した場合は残酷な死が待っている…。姫と結婚するためにカラフ王子の命を賭した挑戦が始まる。プッチーニが亡くなる直前まで手掛けた最後の作品。古代北京の色彩やかて幽玄な絵画を想起させるアンドレイ・セルバンの壮大で豪華絢爛な演出は圧巻。勝利を確信するカラフが歌い上げる「誰も寝てはならぬ」はジャンルを超えてカバーされる世界的人気曲。



●ロイヤル・バレエ  
2023年 6月16日(金)~6月22日(木)  
「シンデレラ」  
Cinderella  
【音楽】セルゲイ・プロコフィエフ  
【振付】フレデリック・アシュトン  
【出演】マリアネラ・スニエス、ワディム・ムンタギロフ  
金子扶生、アクリル瑞嘉、マヤラ・マリク 他

英国バレエを代表する振付家でありロイヤル・バレエ団の創設者フレデリック・アシュトンの「シンデレラ」は、今シーズンで75周年を迎えるロイヤル・バレエ団を代表する演目のひとつ。プロコフィエフの超越したスコアの美しさに演劇、映画、ダンス、オペラに精通したクリエイティブチームによる魔法が、妖精のゴッドマザーやかぼちゃの馬車、ハンサムな王子様、真実の愛を見つけるシンデレラの幻想的な世界に新しいスタイルをもたらす。カナダ国立バレエ団との共同制作。



●ロイヤル・オペラ  
2023年 7月7日(金)~7月13日(木)  
「フィガロの結婚」  
The Marriage of Figaro  
【音楽】ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト  
【演出】デイヴィッド・マクヴィガー  
【指揮】アントニオ・パッパーノ  
【出演】リッカルド・ファッシ、ジュリア・セメンツァート 他

伯爵家の従者フィガロと侍女ズゼナは結婚式の日を迎え興奮に包まれていた。しかし手癖の悪い伯爵はズゼナに熱を上げており、何とかして彼女を手に入れようと企んでいた。それを知ったフィガロは伯爵を懲らしめるために画策し、一方で伯爵夫人は冷めきった夫婦関係に悩み、そこに彼らを取り巻く個性豊かな面々が加わりドタバタの喜劇が繰り広げられる。「セビリアの理髪師」から続く物語を人気演出家デイヴィッド・マクヴィガーが革新的な演出で手掛ける。



●ロイヤル・バレエ  
2023年 8月25日(金)~8月31日(木)  
「眠れる森の美女」  
The Sleeping Beauty  
【音楽】ピョートル・チャイコフスキー  
【振付】マリウス・フティバ  
【追加振付】フレデリック・アシュトン、アンソニー・ダウエル、  
クリストファー・ウィーランド  
【出演】ヤスミン・ナグディ、マシュー・ボール 他

第二次世界大戦後の1946年、ロイヤル・オペラ・ハウスが再オープンした際に最初に上演したロイヤル・バレエ団にとって特別な作品。初々しくも緊張感にあふれたローズ・アダージオから、抒情的でロマンティックな幻影のバド・ドゥ、そして華麗なグラン・バド・ドゥまで、オーロラ姫の役はクラシック・バレエの中でも技術的にも、表現的にも難しい大役。これぞ究極の古典バレエという見ごたえたっぷりの壮麗な世界が繰り広げられる。



●ロイヤル・オペラ  
2023年 9月22日(金)~9月28日(木)  
「イル・トロヴァトーレ」  
Il trovatore  
【音楽】ジュゼッペ・ヴェルディ  
【演出】アデーレ・トーマス  
【指揮】アントニオ・パッパーノ  
【出演】ユシフ・エイヴァゾフ、ルドヴィック・テジエ 他

マンリーコとルーナ伯爵はレオノーラの愛情を巡り激しく敵対していた。一方でマンリーコの母アズーナは何十年もの間恐ろしい秘密を抱えていたが、これが彼らに破滅的な運命をもたらすことになる。ふたりは知る由もなかった…  
迷信と対立を描きヴェルディが大成功をおさめた記念的作品。「見よ、恐ろしい炎を」はテノール歌手にとって<ハイ>と呼ばれる高音を出す最高難度の曲と言われている。

\*出演者等は変更になる場合もございます。最新情報は公式HP・SNSでご確認ください。